

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	04	0401	橋梁維持事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
橋梁の維持管理

《事業開始の背景》  
橋梁の老朽化対策として修繕工事している。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が一気に増加するので、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、それに基づき事業を展開している。

《事業概要》  
**【24年度】**  
 橋梁補修工事 2橋（朝日橋・中島橋）  
 調査設計 1橋（天王橋）  
**【25年度】**  
 橋梁補修工事 2橋（朝日橋・天王橋）  
 調査設計 1橋（折居橋）  
 -----  
 市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	修繕対象橋梁修繕率（H21～H35：全26橋）	%	目標	8	12	
			実績	8	12	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	道路課	藤井 善也	574

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		51,393				
財源内訳	国県支出金	30,160				
	地方債	16,200				
	その他					
	一般財源	5,033				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

**【24年度】**

- 朝日橋（修繕工事）72,000千円
- 中島橋（修繕工事）37,000千円
- 天王橋（調査設計）4,100千円
- 橋梁修繕（市内一円、調査設計）1,500千円
- 橋守事業（事務費）238千円

**【25年度】**

- 天王橋（修繕工事）43,394千円
- 折居橋（調査設計）2,329千円
- 橋梁修繕（市内一円、調査設計、橋梁点検）5,461千円
- 橋守事業（事務費）209千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	04	0401	橋梁維持事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	2-6	快適で便利な道路網と公共交通体系の構築
目的	橋梁の維持管理				
対象	道路利用者、市民、修繕が必要な橋梁				
意図	橋梁修繕により、市内を安全で快適に移動できる。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

【24年度】  
 橋梁補修工事 2橋（朝日橋・中島橋）  
 調査設計 1橋（天王橋）

【25年度】  
 橋梁補修工事 2橋（朝日橋・天王橋）  
 調査設計 1橋（折居橋）

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態  共催  実行委員会・協議会  事業協力・協定  
 後援・協賛  補助・助成  委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 修繕橋梁数	橋	計画	3	3	
		実績	3	3	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 修繕対象橋梁修繕率（H21～H35：全26橋）	%	目標	8	12	
		実績	8	12	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

予定橋梁数の工事、調査設計が達成できた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

地域住民からの橋梁修繕要望、落橋を心配する情報が少数だが寄せられている。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<p>・公共施設である橋梁の補修なので妥当である。</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	<p>・前年度に橋梁補修内容の調査設計を実施し、補修内容、予算について精度を上げている。                  ・以前より上記内容に取り組み、橋梁長寿命化において成果をあげていることから、更なる向上は困難である。                  ・公共物の老朽化は年々進むことから、現在の取り組みを維持し、継続的に事業を進める必要がある。</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<p>・前年度に個々の橋梁補修内容について調査設計を実施。                  ・それにより適正な補修方法、内容を検討。                  ・あわせてコスト縮減についても検討。                  ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な最低限の事務を行っている。</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<p>・公共施設であり、不特定多数が利用する橋梁の補修であることから、受益者負担は公平、公正である。</p>

《総合評価》…上記評価結果の総括

・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、早期対策の必要な橋梁を優先して修繕している。  
 ・その中でも、個々の橋梁修繕については前年度に調査設計を実施し、内容の精度を上げて事業費削減等に努めている。  
 ・更なる修繕計画の効率性、経済性の向上を図るため次年度に計画見直しを実施する。